

【令和8年度感染症対処訓練】

自衛隊札幌病院（病院長 菊池陸将）は、令和8年7月8日（水）、新型インフルエンザ等に感染した患者の受入れを想定した感染症対処訓練を実施した。コロナ禍における教訓と最近の状況変化等を踏まえ、4月に改訂したBCP（業務継続計画）について、実動訓練を通じてその実効性を検証するとともに、実際の行動における課題や問題点を確認することができ、意義のある訓練となった。特に、当院でコロナ禍を経験していない職員にとっては、感染症流行時の対応を具体的にイメージし、いざという場面でも迷わず適切に行動できるよう備える貴重な機会となった。また、実際に訓練を行うことで、多くの課題や「気づき」を得ることができた。

当院では、感染症流行時においても迅速かつ適切に対応できるよう、今後も継続的に訓練を実施し、BCPの実効性の向上に努めていく。



病院長（菊池陸将）



訓練開始式



感染症患者の受け入れ



食事の受け渡し



検体採取



薬剤官による服薬指導



入院患者の対応



レントゲン検査



C T 検査



診察前の手指消毒